

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 井上 恵太
所属 (School) 生命環境科学域 応用生命科学類
学年 (Grade) 4年

留学先 (Name of overseas institution)
コンコルドインターナショナル
オンラインプログラム

留学期間 (study abroad period)
2021/9/13~2021/9/24

記入日 (Date) 2021/10/7

留学レポート Study Abroad Report

・参加理由

以前から留学には興味があったものの、コロナウイルスの影響から日本の学校ですらまともに通えない状況で関心は薄れていました。しかし、オンラインでの留学のことを知り、逆に今しかできないことだと思い、調べている中でコンコルドインターナショナルオンラインプログラムのことを知りました。このオンラインプログラムは時差の関係で17時~と夕方からスタートするため、研究室に通うながらも、どうにか参加できそうであり、全てzoomを用いた同期型の授業であるため、色々な人と交流できそうだと考え、思い切って申し込み、2週間参加しました。

・授業開始まで

まず、日本のスタッフからクラス分けのためにプレテストというTOEICでの文法問題のような問題を25問解いてほしいとメールが届き、その結果を送りました。その後、プログラムが始まる数日前に、「あなたの英語力を知りたいから1度話したい。」との内容の英語のメールが届きました。僕は英語でのメールのやり取りをしたことがありませんでした。そのため、マナーなど調べながらやり取りをしました。日本での学習ではなく、現地の学校とのやり取りだからこそ生じたいきなりの実践に、このようなプログラムの強みを感じました。そして、決定した日時にzoomで10分程度現地の先生と会話をしました。内容は大学で何勉強してるなどの基本的なことを向こうが質問してくれ、そこから軽く話すといった流れです。僕は週に1度、1時間程度の英会話をしていたため緊張しながらも多少は話せました。

・授業について

担当の先生からzoomのURLが送られてきて授業が始まりました。授業が始まってまず驚いたことが、現地以外での参加者が僕だけだったことです。そのため、現地の授業がメインでそこに参加させてもらっているという感覚でした。これはクラスのレベルや受講の時期などの問題から他にいなかっただけなのかもしれませんが、過去の体験談などから、zoom参加者3人、現地に先生1人と生徒2人のようなzoomがメインの授業だと思っていた自分には衝撃でした。しかし、留学を体感するという意味ではそれぞれがオンライン上で行うよりも良いとも思いました。

現地にはサウジアラビアの男性や日本人の女性など多様な国籍の方が4~7人程度授業を受けていました。授業のスタイルは、ディスカッションが多かったです。まず昨日何があったのか話し合うことから始まり、簡単なクイズや会話をし、その後メインの教科書を進めるといった流れになります。zoomのホワイトボードを使ってもらうことが多かったです。教科書は事前にメールで該当箇所をpdfで送ってくれました。内容だけ見れば、関係代名詞の復習など中高で習う文法についての説明など比較的容易なものが多かったです。問題の半分くらいは話し合うことや何らかの意見を言うことだったので苦戦することが多かったです。後半の期間では先生が変わり、教科書で一人一人に意見を聞く流れがメインだったため先生によって授業内容は変わりそうです。(もしかしたら、後に話す音響の問題を配慮した授業に変えてくれたのかもしれませんが。)

・良かった点

良かった点は、他の学習者が英会話教室の先生のような優しい英語でなんでも「クール!」と言わない良い意味でリアルな点です。ずっと喋ってるひともいれば、そうでもない人もいたり、普通にスマホいじりだしたりとそれぞれが自由な所も緊張が解けやすく良かったです。ただ、基本的に優しく、協力的な方が多かったです。

また、先生の話もこちらに質問してくれる時は分かりやすく話そうとしてくれるので聞き取りやすいですが、たわいもない話になるとかなりスピードが早いです。そのため、こっちは必死にならざるを得ない状況

になり、集中して頑張ることが出来た所良かったです。

・改善してほしい点

改善してほしい点の一番は音響です。現地ではスピーカーが一つ置いてあるだけで、それぞれがヘッドホンをしているようなオンラインに完全対応した仕様ではなかったため、全員が話すと誰が誰の声が分からなくなったり、そもそも音がこもりすぎて、日本語だとしても聞き取れないようなオンラインならではの障壁がありました。現地の先生や日本のスタッフの方に根気強く改善を求めたところ、部屋を変更してくださり、初めに比べたら良くなりましたが、もっと聞き取りやすければと思うタイミングは多々ありました。

システムの問題でなかなか zoom が始まらないこともありました。

また、先生にもよると思いますが、他の学習者の趣味などを聞く雑談の時間が思っていたよりも短かったです。

・最後に

現地の学習者の方が沢山英語で談笑しており、めっちゃ英語喋れるなあと思っていたところ、文法の問題になると、中学生でも知っていそうなことを知らなかったりと、結局は英語力というよりも、度胸とミスしても良いメンタリティーが大切だと痛感しました。なので、興味のある方は英語力に関わらず参加してみるのがいいと思います。